

広田っ子

～本物の笑顔が輝く広田小～

佐世保市立広田小学校 学校だより
第8号 令和4年12月23日(金)
文責 井上 文典

「本物の笑顔」に簡単アクセス

広田小HP QRコード



行く年への感謝とともに、くる年の子どもたちの「本物の笑顔」を願っています

いよいよ明日から冬休みに入ります。

今年も、子どもたちはそれぞれに努力、工夫をし、成長した一年となりました。学校でも成長をしっかりと感じています。特に、2学期は授業前の黙想を取り入れたことにより、落ち着いて学習に臨む姿をたくさん見ることができたことは大きな成果だったと考えています。

学習についても、学びの成果は出ています。中でも算数科では「根拠を明確にして伝え合う学習」という研究を進めた結果、授業中の対話などの意見交換、みんなの前での発表など、学年に応じ、論理性を伴いながら表現できるようになってきています。一方で、学習したことの活用については課題があります。気になることは、例えば、国語科では漢字の活用と、文章の読み取りです。子どもたちが文章を書いているところを見ると、学習した漢字を活用していないことがあります。また、平易な文章の問題であっても読みが浅く、安易に「わからん」「できん」とつぶやく姿もみかけます。

また、算数科では、問題を解くだけでなく、設定された場面や条件から問題をつくる課題などにおいて戸惑っている子どもたちを見かけます。国語科、算数科ともに、いわゆる活用に課題があると捉えています。冬休みには、お子さんのこれまでのノートやプリント等に目を通していただき、書いてある文字や文章をもとに親子で学習について話す時間を設けてほしいです。

冬休み、子ども達はご家庭で長い時間を過ごすこととなります。年末、年始と忙しさは増しますが、お手伝いや学習等、充実した時間を過ごさせてください。特に、生活習慣については規則正しいリズムを意識させるようにしてください。



終業式 校長講話（話の柱のみ紹介）

2学期の振り返りを中心に下記の3点を柱として話をしました。

- ① 自分の言葉や行動をしっかり振り返りましょう。優しい人、温かい人は、本物の強さをもっている人です。
- ② 学習したこともしっかり振り返り、苦手なところを少しでも克服しましょう。大切なことは苦手なことをはっきりとさせ、逃げないことです。
- ③ 今年一年に感謝の心もち、言葉に出して新しい年を迎えましょう。冬休みは、家で「ありがとう」の言葉を交わしましょう。

本校では「ありがとう」と「ごめんなさい」が素直に言える子を育てるということを全職員で共有しています。まずは、はきものそろえ等、小事、凡事の徹底を図る中で「気づく子」を育て、課題に気づかせ、具体的に自身を振り返る力を育ててきています。まだまだ課題はありますが3学期も継続していきます。

「あいさつ」はよくなってきていますが、まだ課題があります。校内のあいさつは積極的な姿が数多く見られようになりましたが、家庭や地域で、さらにあいさつができるようにしていきたいと考えています。

コロナ禍における地域でのあいさつは、声の大きさなどのマナーは必要ですが、やはりあいさつは人としてのコミュニケーションの基本ですので、これから工夫しながら、指導をしていきます。

令和4年 大変お世話になりました ありがとうございます

令和5年も、広田っ子の笑顔がさらに輝くためにご理解、ご協力をお願いいたします

「はきものそろえ」「授業前黙想」という小さな実践ですが、大きな力につながっています

1 小さな実践「はきものそろえ」からタスク対応力を育てる

はきものそろえのような小事、凡事をおろそかにせず、日常の小さなタスク対応力を身につけることが、自立の土台となることを本校職員は強く認識しています。また、この実践が礼節やマナーの向上とともに、整頓された環境を心地よいと感じる感性が生まれ、物事を整理しながら生活していく人になっていくと考えています。

12月現在、下足棚の正しい習慣化の割合は90%を超えています。3学期はあと10%の子どもたちの習慣化のために、全職員で寄り添いながら指導をしていきます。

トイレのスリッパはまだ課題があります。他者を意識し、公共心をさらに育むためにも指導を工夫し、繰り返し声をかけていきます。



2 「授業前の黙想」心の準備をして授業に臨む

“授業前「黙想」「目を閉じて静かに待つ」は効果が大きいです” この声は、職員の声です。

6年生や一部の学級はすでに実践していましたが、今年度は、2学期から全校実践として、各学年それぞれの実態に合わせて「授業前の黙想」「目を閉じて静かに待つ」を実践しています。



目を閉じて心を落ち着かせ、そして授業に臨む「黙想」の実践は、子どもたちの落ち着きに強く結びついている様子が見えます。「活動する力」「自分を静かに止める力」ともに大切な力です。自分を静かに止める力が作用している間は、自分自身を見つめなおす時間にもなります。

3学期も「黙想」による子どもたちの学習への集中力の伸びを楽しみにしているところです。